オンライン食事介助講座（1回目）開催報告

開催日：2020年９月13（日）
時間：9:30-11:30
講師：小山
アシスタント：髙橋・山下
受講者：15名
職種内訳：
歯科医師３名、看護師２名
歯科衛生士３名、管理栄養士１名
言語聴覚士１名、相談員１名
ケースワーカー１名、家族３名

感想メール（抜粋）

●家族：　本日はオンラインでの食事介助講座、夫とともに参加させていただき、感謝します。Zoom を使うのも顔を出して参加するのも初めての経験で緊張しましたが、勉強になりました。完全側臥位で実際に食べさせるところを見ていただき、ありがとうございました。枕やタオルを十分使って頭を支えること、スプーンを下唇に当てて離さないことや口の開け方、食物はスプーンに平たく取ること、唇の汚れを残さないこと、これらに注意してこれからもこの方法で食べさせてあげたいと思います。夫の状態は波が大きく、日によっては自分から催促して口を開けることもあるのですが、今日のように目も口もなかなか開かず動けないこともあります。自分から意思表示はできませんが、今日のセミナーもちゃんと聞いていてわかっていたようです。夫の食べたい気持ちを尊重したいと思います。
以前のオンラインセミナーでも今回でも、勉強になると共に大変勇気づけられました。知識を蓄え技術を身に着けて決してあきらめず、また人に頼らずに私が主体になって、できる限り夫が口から食べられるよう介護を続けたいと思います。重ねて、ありがとうございました。

●歯科医師：今日も大変お世話になりました。とても勉強になり、疑問が随分解決出来て、飲み込めずにいた疑問が、すっと飲み込めました！舌が動いたのか、腐っていた脳みそが再生したのかわかりませんが経験してみないと、分からないとつくづく感じました。
自分で、小山先生の指示通り、舌を動かさずに飲み込んだり、おかきと、水を同時に口に入れて飲み込んだりすることは私でさえも結構意識的な努力が必要だと感じました。
また、認知症が進んできている母にも、実際の様子を見ていただき、とても勉強になり感謝しかありません。

●ケースワーカー：本日のセミナー、ありがとうございました。小山先生のお話しは丁寧で分かりやすかったです。体験は、実際にやってみてスプーンが前から迫ってくる感じや、食べ物が舌の位置で飲み込む動きが変わることやお茶とビスケットが両方口の中にある時の飲み込みなど、本を読むだけでは得られないことでした。今後の業務や要介護の母の介護に役立てたいと思います。
個人的には、今回が初めてのオンラインセミナーの参加で、画面操作など不慣れで緊張しました。参加できて、オンラインで多くの方とつながれたこと、離れていても講師の先生のご指導を身近に感じられたことは、喜びでした。